PureStiller
ピュアスティーラー

ピュアスティーラーライト[K-HJ200 OilSP]
組立・使用マニュアル

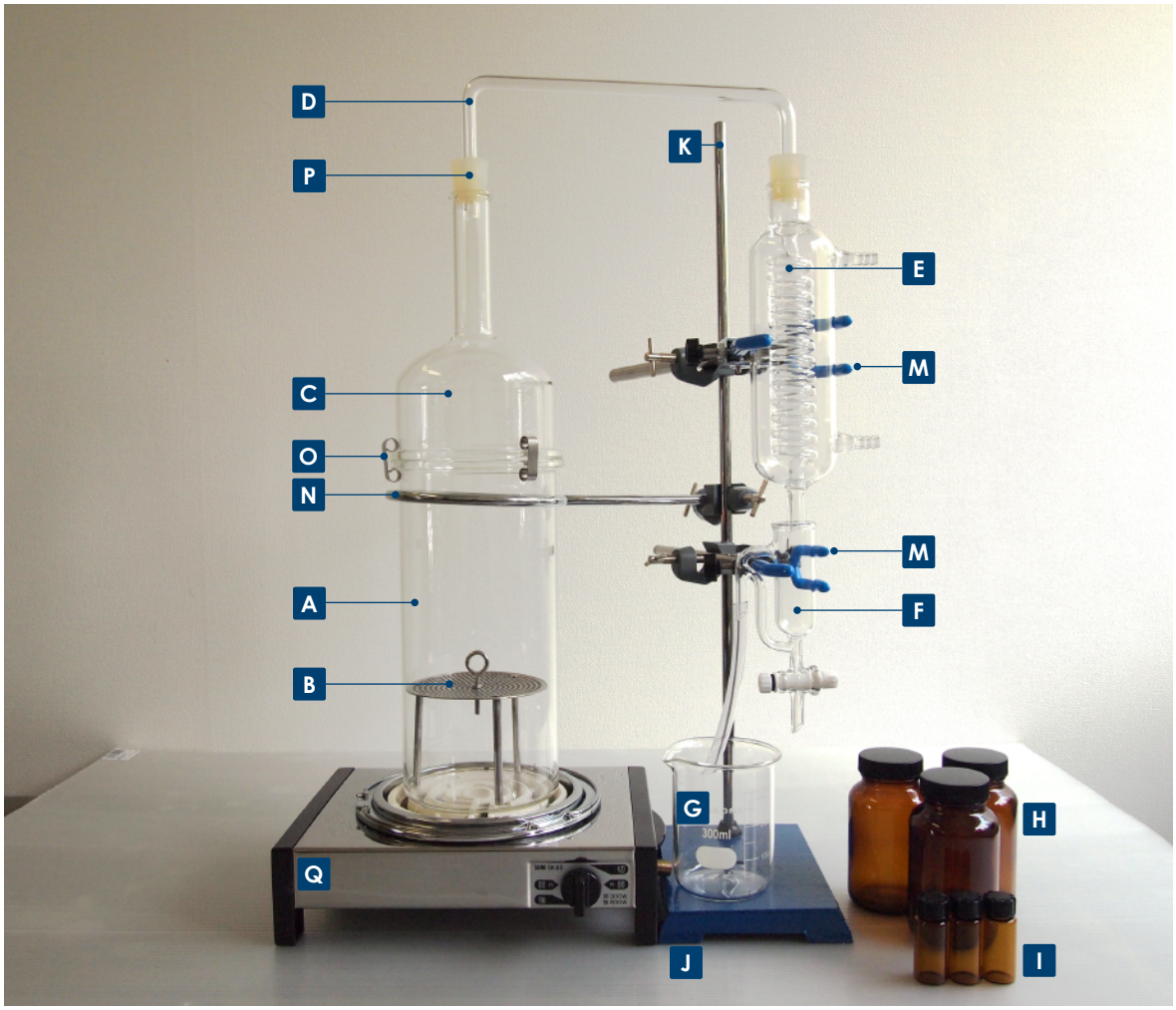
株式会社 黄河

〒819-1123 福岡県糸島市神在159-3
TEL 092-332-1088 / FAX 092-332-1089

《甕の黄河》http://kame-kohga.com
《ハーブ蒸留器ピュアスティーラー》http://purestiller.jp

最終版:2014年6月26日

ピュアスティーラーライト[K-HJ200 OilSP] 各部品の名称

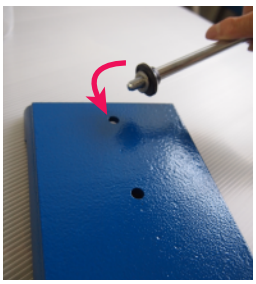


No	名称	個数
A	蒸留フラスコ(本体)	1
B	ハーブ用メッシュ	1
C	蒸留フラスコ(蓋)	1
D	連結管	1
E	冷却器	1
F	30mlオイルセパレーター	1
G	300mlビーカー	1
H	ハーブ水保存瓶 200ml	3
I	オイル保存瓶 10ml	3
J	鉄製スタンド	1
K	支柱	1
L	ムッフ(連結具)	3
M	クランプ(大・小)	2
N	蒸留フラスコ用リング	1
O	蒸留フラスコ用バネクリップ	3
P	シリコンキャップ	2
Q	電気コンロ	1

ピュアスティーラーライト[K-HJ200 OilSP] 組立方法と分解方法

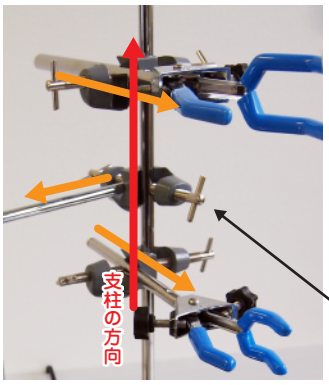
組立方法

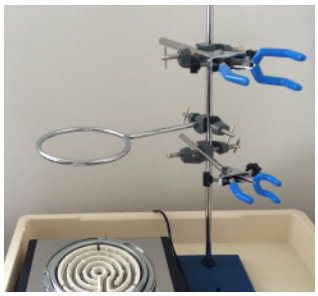
1 J大理石スタンドの台座部分に支柱を挿し込み、ナットをペンチなどの工具でしっかり閉める。



※中央の穴ではなく、端側の穴へ

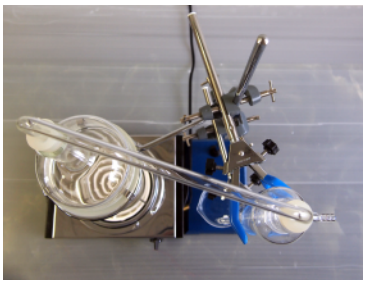
2 電気コンロを大理石スタンドの左側にピッタリと置く。大理石スタンドの支柱の印のついた3箇所にLムッフ(連結具)を取り付け、下からMクランプ(小)、N蒸留フラスコ用リング、Mクランプ(大)を写真のように取り付ける。

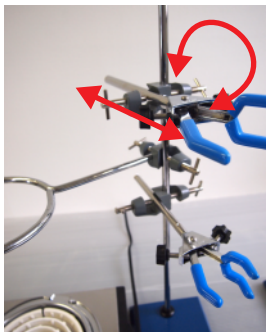




ムッフ取付時にクランプ類を下から支えるように。

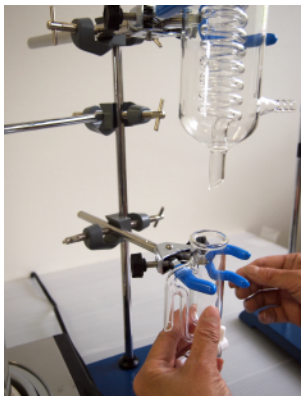
3 上から見た位置関係(写真参照)にも注意しながら、クランプの方向および前後の位置を調整する。ムッフ(連結具)の右側でネジの高さ・方向を調整し、左側のネジでクランプの前後の位置(長さ)を調整します。





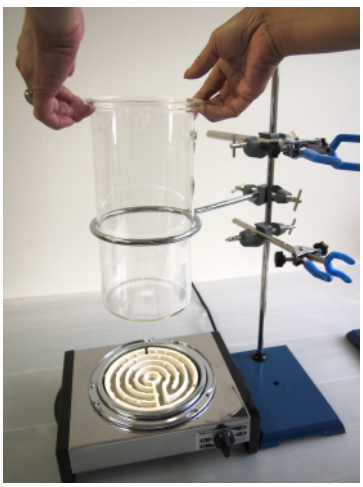
4 Fオイルセパレーターのコックを動かしスムーズに動くことを確認する。硬い場合は、上から水を注ぎ、コックを捻りながら水を少し馴染ませる。最後にオイルセパレーターのコックがしまった状態であることを確認する。

G300mlビーカーを鉄製スタンドの上に置き、その上にオイルセパレーターをクランプで固定。この時、ビーカーが接触しないように注意してください。クランプおよびムッフ(連結具)の位置や締め具合でオイルセパレーターの位置を調整してください。



5 蒸留フラスコ(本体)をリングの上から入れ、Q電気コンロの中央部に設置します。

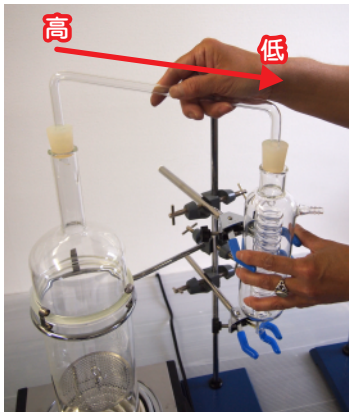
クランプおよびムッフ(連結具)の位置や締め具合を微調整し、蒸留フラスコの位置を調整します。



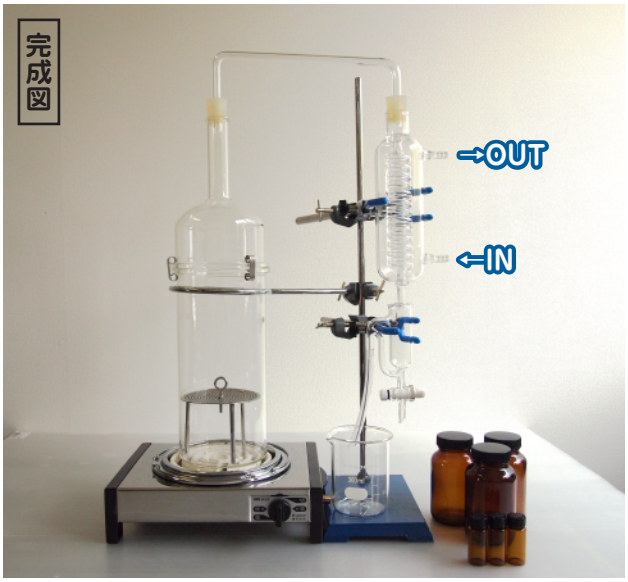
6 Ⓐ蒸留フラスコの中にⒷハーブ用メッシュを入れ、Ⓒ蒸留フラスコ(フタ)をします。フタと本体にⓄ蒸留フラスコ用バネクリップ３個を均等にはめ込みます。

7 冷却器をオイルセパレーターの上にクランプで固定します。クランプの両側のネジを緩め大きく開いてから冷却器を固定します。この際、オイルセパレーターと冷却器が接触しないように注意してください。
クランプおよびムッフ(連結具)の位置や締め具合で冷却器の位置を調整してください。

8 Ⓓ連結管の両側についたⓅシリコンキャップを両手で持ちながら、一方を蒸留フラスコ(フタ)に、もう一方を冷却器に挿し込みます。この時、連結管は右に傾斜がついた状態となります。
連結管のシリコンキャップへの入り具合および蒸留フラスコ(フタ)および冷却器への入り具合を調整し、高さの微調整をしてください。



7 各部品の位置、全体の傾き、高さのバランスを確認してからムッフ(連結具)のネジをもう一度きつく締めて完全に固定します。
最後に、冷却器に下側がIN,上側がOUTになるように、ホースをつなぎます。



分解

＊＊＊ ご注意ください ＊＊＊
使用後は器具類が大変熱くなってますので、
完全に冷めてから分解してください。

1.連結具のシリコンキャップを両手でもって、前後に少しずつ動かしながらゆっくり外します。

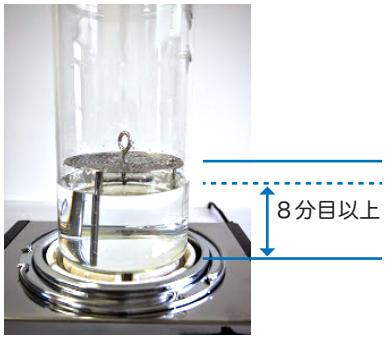
2.その後は組立方法と逆の手順で各パーツを外して分解してください。

ピュアスティーラーライト[K-HJ200 OilSP] 使用方法

使用方法

1 D連結管のシリコンキャップを両手でもって外します。

2 蒸留フラスコ用ばねクリップ３個を外して、蒸留フラスコのフタを外します。ハーブ用メッシュの下、約８分目以上まで水を入れます。この時、水が少ないと空焚きとなり、破損の原因となりますので、ご注意ください。



3 ハーブ用メッシュの上に蒸留するハーブを入れます。
ハーブを細かく切って、200g以上を均一に詰めて入れてください。

4 蒸留フラスコのフタをして、蒸留フラスコ用バネ３個を均等な位置に固定します。

5 連結管の両側についたシリコンキャップを両手で持ちながら一方を蒸留フラスコ(フタ)に、もう一方を冷却器に差し込みます。この時、連結管は右に傾斜がついた状態になります。

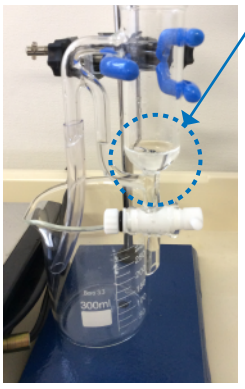
6 オイルセパレーターのコック(白)が水平に閉まっていることを確認します。(No.10 参照)

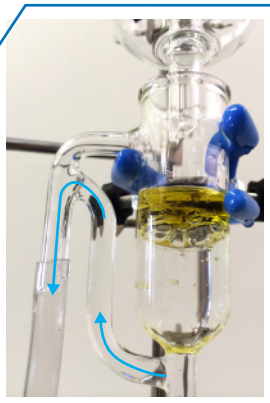
7 冷却水を確認します。冷却器にホースをつないで水を流して各箇所に緩み・漏れがないことを確認します。
【簡易水循環装置を使う場合は後述】

8 電気コンロの電源プラグをコンセントに挿し込み、コンロのスイッチを回して「強」の目盛りに合わせます。

9 しばらくすると(約15分)、蒸留フラスコ下部の水が沸騰してきます。蒸気がハーブを通り、連結管、冷却器へと到達し、冷却器で冷やされて、オイルセパレーター内にオイルとウォーターが溜まってきます。沸騰具合および蒸留水の流量を見ながら、必要な場合は電気コンロの火力を調整してください。

10 オイルセパレーターの準備
蒸留中、オイルセパレーターにはオイルが上層に溜まり、下層にウォーターが溜まり、増えてくると、測管を通ってビーカーに流れて行きます。蒸留初期に出てくるオイルが測管から流れていかないように、最初に水を少し入れておきます。





11 ビーカーにある程度溜まったら、ハーブウォーターを別の容器に移し、再び空のビーカーをセットします。

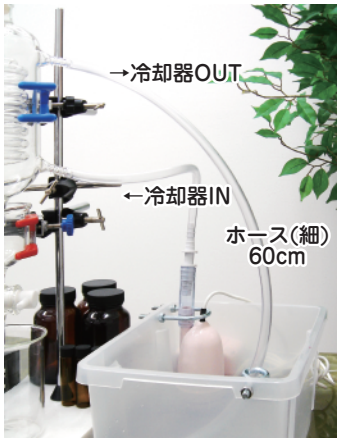
12 蒸留フラスコ内の水の量に注意しつつ、(11)の作業を繰り返します。蒸留フラスコ内の水の量が残り少なくなったら(下から1.5cm程度)電気コンロのスイッチを切ります。
電源を入れてから1時間程度を目安として、2回目以降の蒸留は同じ加熱条件で行います。

13 オイルセパレーターのハーブウォーターだけをビーカーに落とし、オイル部分(若干のウォーターが一緒になって構いません)はオイルセパレーターに残します。
ビーカーのウォーターは保存瓶に移します。オイルは(若干のウォーターが混ざった状態で透明の容器等に移し、下に溜まった少量のウォーターを注射器で抜き取ります。
(注射器は100円ショップ等で入手できます)。

14 ハーブウォーター・ハーブオイルの保存方法
それぞれを保存瓶に入れフタをしっかり締め冷暗所にて保存。できるだけ早めにご使用ください。

簡易水循環装置（ポンプ）の使い方

1	ポンプを水槽の特定の位置に配置し、 ポンプ ⇕ ホース（太）10cm ⇕ 異径パイプ ⇕ ホース（細）30cm ⇕ 冷却器（IN） をつなぎ、緩みがないかを確認します。
2	冷却器(OUT) ⇕ ホース（細）60cm をつなぎ、水槽の所定の位置にセットします。
3	水槽の約2/3まで水を入れ、ポンプと電源器をつなぎ、スイッチを入れ、試しに水を循環させます。再度、各箇所に緩み・漏れが無いかを確認してください。



取扱い上の注意

- ●ガラスは割れるものです。洗浄やご使用は丁寧にお取り扱いください。
- ●ご使用中・ご使用後の本体は大変熱くなっておりますので、素手では触れないようにしてください。
- ●ヒビ、カケ、深い擦り傷の入ったものは思わぬ時に破損する可能性がありますので、絶対に使用しないでください。

お手入れの方法

- ●洗浄する場合は、やわらかいスポンジに中性洗剤を使用してください。
- ●クレンザー等の研磨剤入り洗剤は、ガラスに傷をうけ思わぬ時に破損の原因となりますので、使用しないでください。
- ●力を入れて、ひねり洗いすると破損し思わぬ怪我をすることがあります。ご注意ください。
- ●破損した際のお取り扱いには、怪我をしないよう十分ご注意ください。

ガラス製部品が破損した場合

- ●ガラス製部品につきましては、バラ売りパーツをご用意しております。下記までお気軽にお問合せください。

製品についての問合せ先

株式会社 黄河

〒819-1123
福岡県糸島市神在159-3
TEL 092-332-1088 / FAX 092-332-1089

《メール》info@purestiller.jp
《ホームページ》http://purestiller.jp